

教科（科目）	国語	学年（系）	2年
使用教科書	国語2（光村図書）		
副教材等	『書きたくなるアシスト常用漢字』（数研出版）『中学必修テキスト』（文理） 『つまづかない！文法の学習』（新学社） 『学習の達成+記述に役立つミニスキル2年』（新学社）		

1 学習目標

- ・目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や考えの違いを踏まえて話す能力、考えを比べながら聞く能力、相手の立場を尊重して話し合う能力を身につけるとともに、話したり聞いたりして考えを広げようとする態度を養う。
- ・目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、構成を工夫して分かりやすく書く能力を身につけるとともに、文章を書いて考えを広げようとする態度を養う。
- ・目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読む能力、広い範囲から情報を集め効果的に活用する能力を身につけるとともに、読書を生活に役立てようとする態度を養う。

2 指導の重点

- ・家庭学習習慣の確立。
- ・目的や意図に応じて、文章を適切に読み取れるよう、丁寧な読み取りに重点をおき指導する。

3 指導計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	備考
4	1 広がる学びへ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「見えないだけ」</li> <li>・「アイスプラネット」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読する。【主体的】</li> <li>・登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して、作品を読む。【知・技】</li> <li>・「ぐうちゃん」の言動から特徴を捉え、他の登場人物との関係を人物相関図にまとめる。【思・判・表】</li> <li>・積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合う。【主体的】</li> </ul>	12	
5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文「枕草子」</li> <li>・報告「クマゼミ増加の原因を探る」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代語訳や語注を手掛かりに「枕草子」を読み、作者のものの見方や考え方を捉える。【知・技】</li> <li>・作者の考えと自分の考えとを比較し、感じたことをまとめる。</li> <li>・生活を振り返って、自分ならではの季節感を表すものを見つける。【思・判・表】</li> <li>・進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分ならではの季節感を表す文章を書く。【主体的】</li> <li>・文章が六つの部分できていることを理解し、線や矢印を用いてそれらの関係を整理する。【知・技】</li> <li>・筆者の主張を捉え、それと仮説1～3との関係を理解する。【思・判・表】</li> <li>・文章中の図表やグラフが何のために示されているのかを、対応する文章を基に考える。</li> <li>・積極的に文章と図表などを結び付け、学習の見通しをもって考えたことを話し合う。【主体的】</li> </ul>	12	

6	2 多様な視点から	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短歌に親しむ</li> <li>・短歌を味わう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情景などを表す語句に着目して作品を読み深める。また、情景や心情が生き生きと伝わる言葉を選んで短歌を創作する。【知・技】</li> <li>・好きな一首を選び、自分の知識や経験と結び付けて感想を書く。【思・判・表】</li> <li>・短歌の構成や表現の効果について考え、学習の見通しをもって短歌を創作する。【主体的】</li> </ul>	16	中間考査
7	3 言葉と向き合う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「言葉の力」</li> <li>・言葉1「類義語・対義語・多義語」</li> <li>・読書を楽しむ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉に対する筆者の考え方を捉え、本や文章には、筆者の考え方が書かれていることや、それに触れることで自分の考えを広げたり深めたりできることを理解する。【知・技】</li> <li>・言葉に対する筆者の考え方について自分の考えをもち、話し合う。【思・判・表】</li> <li>・進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合う。【主体的】</li> <li>・類義語・対義語・多義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解する。【知・技】</li> <li>・今までの学習を生かして、積極的に類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解する。【主体的】</li> </ul>	12	
9	4 関わりの中で	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒューマノイド」</li> <li>・随筆「字のない葉書」</li> <li>・言葉2「敬語」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の言動や情景を表す語句に着目し、それらが作品に与える印象を述べる。【知・技】</li> <li>・登場人物の言動から人柄や心情を読み取り、それらが話の展開や作品の印象にどう関わるかを捉える。【思・判・表】</li> <li>・粘り強く登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って作品の印象を伝え合う。【主体的】</li> <li>・敬語を使う生活場面を想定し、敬語の働きについて理解を深める。【知・技】</li> </ul>	12	期末考査
10	5 論理を捉えて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「モアイは語るー地球の未来」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の意見(主張)がどのような根拠によって支えられているかを理解し、その根拠が適切かを吟味する。【知・技】</li> <li>・自分の知識や体験と重ね、筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめる。【思・判・表】</li> <li>・粘り強く論理の展開について考え、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめる。【主体的】</li> </ul>	12	
11	6 いにしえの心を訪ねる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「平家物語」</li> <li>・「仁和寺にある法師」</li> <li>・「漢詩の風景」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・与一や義経の言動、扇の的を射落とした後の人々の反応に着目し、古人のものの見方や考え方を捉える。【知・技】</li> <li>・「扇の的」での与一の言動や「弓流し」の場面での義経の言動の意味について考え、作品を読み深める。【思・判・表】</li> <li>・進んで登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合う。【主体的】</li> <li>・漢文特有の言葉遣いや調子を意識して朗読する。【知・技】</li> <li>・好きな漢詩を選び、気に入った表現や句を引用しながら、構成や表現の効果を伝え合う。【思・判・表】</li> </ul>	12	中間考査
12	7 価値を語る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「君は『最後の晩餐』を知っているか」</li> <li>・用言の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二つの文章を比較し、それぞれの特徴や共通点・相違点を表に整理する。【知・技】</li> <li>・文章の構成や表現の特徴について、二つの文章を比較して発見したことを発表する。【思・判・表】</li> <li>・粘り強く観点を明確にして文章を比較し、今までの学習を生かして考えたことを文章にまとめる。【主体的】</li> <li>・用言の活用形と活用の種類について、語例を</li> </ul>	12	

			<ul style="list-style-type: none"> <li>基に理解する。【知・技】</li> <li>今までの学習を生かして、単語の活用について理解する。【主体的】</li> </ul>		
1	8 表現を見つめる 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説「走れメロス」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品中の漢語を和語に置き換えると、印象がどのように変わるかを考える。【知・技】</li> <li>登場人物の人物像や表現のしかたなど、観点を明確にして作品の魅力を文章にまとめる。【思・判・表】</li> <li>粘り強く登場人物の言動の意味などについて考え、学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめる。【主体的】</li> </ul>	12	
2		<ul style="list-style-type: none"> <li>文法3「付属語」</li> <li>構成や展開を工夫して書こう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>助詞・助動詞の働きや種類について理解し、文や文章で使われている助詞や助動詞の意味・用法を判別する。【知・技】</li> <li>今までの学習を生かして、積極的に助詞や助動詞の働きについて理解する。【主体的】</li> </ul>	10	期末考査
3		<ul style="list-style-type: none"> <li>国語の学びを振り返ろう</li> <li>詩「木」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み手の立場に立って推敲し、表現を工夫している。【思・判・表】</li> <li>粘り強く文章の構成や展開を工夫し、今までの学習を生かして壁新聞を作ろうとしている。【主体的】</li> <li>「愛」、「正義」などの抽象的な概念を表す言葉に着目し、詩の中での意味を考えている。【知・技】</li> <li>自分の知識や経験と結び付けて、作者のものの見方について考えている。【思・判・表】</li> <li>進んで詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って作者のものの見方について話し合おうとしている。【主体的】</li> </ul>	8	

計 130時間(48分授業)

#### 4 課題・提出物等

- ・平日の課題…小テストに向けた漢字練習、必修テキスト等
- ・週末の課題…問題集、書写、作文等

#### 5 評価規準と評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考査および小テストの漢字や文法など言語に関する問題の達成状況</li> <li>・ 考査および小テストの「知識」に関する問題の達成状況</li> <li>・ 長期休業明けの課題テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考査および小テストの「読むこと」に関する問題の達成状況</li> <li>・ 考査および小テストの「書くこと」に関する問題の達成状況</li> <li>・ 聞き取りテストの達成状況</li> <li>・ 授業での表現に関する活動(話し合い活動、発表等)の内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業への参加状況</li> <li>・ 課題の提出率</li> <li>・ 小テストの達成状況</li> <li>・ 授業での表現に関する活動(話し合い活動、発表等)への取り組み方</li> </ul>	<p>&lt;評定&gt; 達成率(各観点の合計点に対して)</p> <p>5…80%以上 4…70%以上 3…50%以上 2…40%以上 1…40%未満</p>
<p>各観点は達成率に応じて3段階で評価する。</p> <p>A 十分に満足できる … 70%以上 B おおむね満足できる … 40%以上 C 努力を要する … 40%未満</p>			

#### 6 担当者からの一言

2年生の国語では、1年生の時よりも長い文章を適切に読み取ることを求められます。自分の考えたことを積極的に発信し、他の人と学び合う姿勢を大切にしましょう。言語に関する内容は、単純に暗記するだけでなく、どうしてこうなるのか、本当にこれでいいのか、じっくり考えて取り組むと力になりますよ!